

広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の令和5年度収支状況等について（報告）

1 広島電鉄株式会社の呉市域バス路線の令和5年度収支状況

(1) 現状

令和5年度（補助対象期間：令和4年10月1日から令和5年9月30日まで）における広島電鉄株式会社（以下「広島電鉄」といいます。）の実車走行キロ数は約292万キロメートル、乗車人数は約498万人となっています。

次に、令和5年度の収支状況については、経常収益は約11億8千万円、経常費用は約17億円で、約5億2千万円の赤字となっています。

(2) 業務量状況

区 分		令和5年度(a) (R4.10.1～R5.9.30)	令和4年度(b) (R3.10.1～R4.9.30)	比 較 (a)-(b)
在籍車両数（乗合）	両	89	86	3
路 線 数	路線	8	9	△ 1
実車走行キロ（乗合）	km	2,921,060.0	3,057,573.6	△ 136,513.6
乗車人数	定期外	人 3,887,004	人 3,877,479	9,525
	定 期	人 1,091,338	人 1,087,343	3,995
	合 計	人 4,978,342	人 4,964,822	13,520
収支状況	経常収益	千円 1,180,743	千円 1,141,538	39,205
	経常費用	千円 1,699,799	千円 1,744,445	△ 44,646
	経常収支	千円 △ 519,056	千円 △ 602,907	83,851

※経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等（令和4年度：12,150千円、令和5年度：12,150千円）は含んでいません。

(3) 路線別収支（経営支援補助金）状況等

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたこともあり、令和4年度に比べて、利用者及び運賃収入も回復傾向にあるものの、全ての路線が赤字路線となり、経営支援補助金は、約5億4,090万円となりました。

(単位：人、千円)

区分	令和5年度 (R4.10.1~R5.9.30)							令和4年度 (R3.10.1~R4.9.30)							比較			
	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	経常 収支率 (a)/(b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 (算出額) ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	経常 収支率 (a')/(b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 (算出額) ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 (算出額) ③-④	
1 宮原線	582,545	108,679	158,197	△49,517	68.7%	161,361	52,681	574,008	105,009	156,475	△51,466	67.1%	159,605	54,596	8,537	1,949	△1,915	
2 呉倉橋島線	968,980	273,316	404,578	△131,262	67.6%	412,670	139,354	915,801	254,121	409,057	△154,936	62.1%	417,238	163,117	53,179	23,674	△23,763	
3 吉浦天応線	435,738	89,051	160,993	△71,942	55.3%	164,212	75,161	446,080	88,505	170,390	△81,885	51.9%	173,797	85,292	△10,342	9,943	△10,131	
4 広仁方線 (旧仁方川尻線)	762,865	159,175	205,686	△46,511	77.4%	209,800	50,625	775,216	157,068	206,180	△49,112	76.2%	210,304	53,236	△12,351	2,601	△2,611	
5 郷原黒瀬線	630,048	161,687	264,512	△102,825	61.1%	269,802	108,115	614,673	152,982	260,724	△107,742	58.7%	265,939	112,957	15,375	4,917	△4,842	
6 辰川線	169,970	25,782	32,926	△7,144	78.3%	33,584	7,802	164,735	24,921	32,082	△7,161	77.7%	32,723	7,803	5,235	17	△1	
7 長の本長迫線	387,139	57,424	75,050	△17,626	76.5%	76,551	19,127	367,703	54,753	73,768	△19,015	74.2%	75,243	20,490	19,436	1,389	△1,363	
8 三条二河宝町線	路線廃止（生活交通へ移管）							82,204	12,898	41,976	△29,078	30.7%	42,816	29,918	△82,204	29,078	△29,918	
9 焼山熊野苗代線	1,041,057	305,628	397,857	△92,229	76.8%	405,814	100,186	1,024,402	291,281	393,793	△102,512	74.0%	401,669	110,388	16,655	10,283	△10,202	
小計(A)	4,978,342	1,180,743	1,699,799	△519,056	69.5%	1,733,795	553,052	4,964,822	1,141,538	1,744,445	△602,907	65.4%	1,779,334	637,797	13,520	83,851	△84,745	
黒字路線	なし						—	—	なし				—	—	—	—	—	—
赤字路線	8路線	1,180,743	1,699,799	△519,056	69.5%	1,733,795	553,052	9路線	1,141,538	1,744,445	△602,907	65.4%	1,779,334	637,797	13,520	83,851	△84,745	
新型コロナウイルス感染症関連支援金等(B)※1							12,150							12,150	0			
経営支援補助金（交付額）(A-B)							540,902	経営支援補助金（交付額）(A-B)						625,647	△84,745			

※1 新型コロナウイルス感染症関連支援金等は、各路線の経常収益には含まず、一括して別枠（B）欄に記載しています。

※2 小数点以下を四捨五入しているため、算出額が合わない場合があります。

2 呉市生活交通の令和5年度収支状況

(1) 現状

旧合併町4地区（下蒲刈，川尻，倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出をした路線において，市民生活に不可欠な公共交通を確保するため，地元交通事業者等に対し，生活バスの運行を依頼しています。

また，吉浦地区及び警固屋地区においては，地域住民が主体となり，地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

令和5年度は，新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたこともあり，令和4年度に比べて，利用者や収入が増加した路線もありますが，物価高騰や燃油費高騰の影響を受け，費用が増加したため，全体として経常収支は悪化しています。

(2) 路線別収支（運行負担金）状況等

ア 呉市生活バス

(7) 合併町地域

（単位：人，千円）

区分	令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）							令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）							比較		
	乗車人数 ① ※1	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	燃油価格等 高騰対策支 援金(d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a)／(b)	乗車人数 ② ※2	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	新型コロナ ウイルス感 染症対策支 援金(d')	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a')／ (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 下蒲刈	2,465	330	12,064	△11,734	150	11,584 〔0〕	※3 2.8%	1,919	315	11,412	△11,097	150	10,947 〔0〕	※3 3.2%	546	△637	637 〔0〕
2 川尻	5,579	585	16,725	△16,140	150	15,990 〔0〕	※3 5.1%	5,335	577	16,182	△15,605	150	15,455 〔0〕	※3 5.2%	244	△535	535 〔0〕
3 倉橋	29,041	8,555	32,217	△23,662	600	23,062 〔4,356〕	26.6%	28,877	7,922	33,025	△25,103	600	24,503 〔4,309〕	24.0%	164	1,441	△1,441 〔47〕
4 安浦	16,883	2,698	20,940	△18,242	300	17,942 〔904〕	12.9%	16,634	2,456	19,505	△17,049	300	16,749 〔897〕	12.6%	249	△1,193	1,193 〔7〕
合計	53,968	12,168	81,946	△69,778	1,200	68,578 〔5,260〕	—	52,765	11,270	80,124	△68,854	1,200	67,654 〔5,206〕	—	1,203	△924	924 〔54〕

※1 令和5年度の経常収益には，燃油価格等高騰対策支援金は含んでいません（（d）欄に記載しています。）。

※2 令和4年度の経常収益には，新型コロナウイルス感染症対策支援金は含んでいません（（d'）欄に記載しています。）。

※3 P A S P Yシステムが未導入の路線（下蒲刈及び川尻）について経常収支率を算出する際は，経常収益に優待負担金相当額を加算して計算しています。

(イ) 広島電鉄移管路線

(単位：人、千円)

移管年度	区分	令和5年度 (R5. 4. 1~R6. 3. 31)							令和4年度 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)							比較				
		乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	燃油価格等 高騰対策支 援金(d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a)／(b)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	新型コロナ ウイルス感 染症対策支 援金(d')	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a')／(b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④		
平成26年度	1	音戸	24,952	5,538	28,145	△22,607	300	22,307 〔621〕	19.7%	24,991	5,618	26,890	△21,272	300	20,972 〔621〕	20.9%	△39	△1,335	1,335 〔0〕	
	2	広	横路	38,083	5,055	23,908	△18,853	300	18,553 〔1,298〕	21.1%	39,051	5,191	24,073	△18,882	300	18,582 〔860〕	21.6%	△968	29	△29 〔438〕
	3		白石白岳	69,923	10,252	22,277	△12,025	300	11,725 〔1,090〕	46.0%	72,129	11,318	21,636	△10,318	300	10,018 〔1,088〕	52.3%	△2,206	△1,707	1,707 〔2〕
	4	昭和	北コース	50,038	10,451	23,789	△13,338	450	12,888 〔358〕	43.9%	53,324	10,962	25,049	△14,087	450	13,637 〔359〕	43.8%	△3,286	749	△749 〔△1〕
	5		中央コース	72,005	9,704	21,286	△11,581	150	11,431 〔1,056〕	45.6%	70,903	9,714	20,164	△10,450	150	10,300 〔1,054〕	48.2%	1,102	△1,131	1,131 〔2〕
	6		南コース	37,692	6,081	17,350	△11,269	150	11,119 〔972〕	35.0%	38,582	6,933	16,667	△9,734	150	9,584 〔970〕	41.6%	△890	△1,535	1,535 〔2〕
令和元年度	7	呉苗代下条線	52,020	9,658	28,268	△18,610	300	18,310 〔1,591〕	34.2%	49,681	8,896	23,660	△14,764	300	14,464 〔1,584〕	37.6%	2,339	△3,846	3,846 〔7〕	
	8	北原神山峠線	2,879	516	21,593	△21,076	150	20,926 〔0〕	2.4%	3,195	576	22,930	△22,354	150	22,204 〔0〕	2.5%	△316	1,278	△1,278 〔0〕	
	9	見晴町線	17,091	3,252	24,149	△20,897	150	20,747 〔0〕	13.5%	19,214	3,635	21,356	△17,721	150	17,571 〔551〕	17.0%	△2,123	△3,176	3,176 〔△551〕	
	10	阿賀音戸の瀬戸線	127,765	27,925	92,508	△64,584	600	63,984 〔4,774〕	30.2%	132,292	28,421	89,562	△61,141	600	60,541 〔4,766〕	31.7%	△4,527	△3,443	3,443 〔8〕	
	11	広長浜線	113,713	21,892	79,462	△57,570	450	57,120 〔2,308〕	27.6%	111,936	20,938	80,012	△59,074	450	58,624 〔2,304〕	26.2%	1,777	1,504	△1,504 〔4〕	
	12	仁方小須磨線	6,063	742	16,819	△16,076	150	15,926 〔0〕	4.4%	6,112	790	16,251	△15,461	150	15,311 〔0〕	4.9%	△49	△615	615 〔0〕	
	13	広川尻線	103,831	15,615	50,780	△35,165	450	34,715 〔3,429〕	30.8%	99,050	15,278	48,074	△32,796	450	32,346 〔3,420〕	31.8%	4,781	△2,369	2,369 〔9〕	
	14	田原藤の脇線	61,120	14,985	54,744	△39,759	450	39,309 〔3,821〕	27.4%	65,421	15,087	51,497	△36,410	450	35,960 〔3,811〕	29.3%	△4,301	△3,349	3,349 〔10〕	
令和4年度	15	三条二河宝町線 ※3	68,378	10,421	33,855	△23,434	450	22,984 〔1,618〕	30.8%	31,656	3,626	11,746	△8,120	0	8,120 〔0〕	30.9%	36,722	△15,314	14,864 〔1,618〕	
合計			845,553	152,088	538,934	△386,846	4,800	382,046 〔22,936〕	—	817,537	146,983	499,567	△352,584	4,350	348,234 〔21,388〕	—	28,016	△34,262	33,812 〔1,548〕	

- ※1 令和5年度の経常収益には、燃油価格等高騰対策支援金は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。
- ※2 令和4年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策支援金は含んでいません（(d'）欄に記載しています。）。
- ※3 三条二河宝町線における令和4年度の期間は、令和4年10月1日から令和5年3月31日です。

イ 乗合タクシー

(単位：人、千円)

区 分	令和5年度 (R5.4.1~R6.3.31)							令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)							比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	燃油価格等 高騰対策支 援金 (d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経 常 収 支 率 (a) / (b)	乗車人数 ②	経常収益 (a') ※2	経常費用 (b')	経常収支 (c') (a')-(b')	新型コロナ ウイルス感 染症対策支 援金 (d')	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経 常 収 支 率 (a') / (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	18,060	2,828	7,977	△5,149	300	4,100 [710]	35.5%	15,819	2,545	7,402	△4,857	300	4,100 [712]	34.4%	2,241	△292	0 [△2]
2 警固屋地区 (おでかけバス)	2,196	309	3,021	△2,712	150	1,800 [0]	10.2%	2,227	332	3,439	△3,107	150	1,800 [0]	9.7%	△ 31	395	0 [0]
合計	20,256	3,137	10,998	△7,861	450	5,900 [710]	—	18,046	2,877	10,841	△7,964	450	5,900 [712]	—	2,210	103	0 [△2]

※1 令和5年度の経常収益には、燃油価格等高騰対策支援金は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

※2 令和4年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策支援金は含んでいません（(d')欄に記載しています。）。

3 今後の路線バス及び生活交通に関する取組方針

現在、次期計画となる呉市地域公共交通計画（仮称）の令和6年度中の策定に向け、各地区の住民の意見も伺いながら、本市の現状に即した地域公共交通ネットワークの姿を検討しているところです。計画策定後は、地域における運行事業者や住民、商業施設などとの連携を通して、地域の実情やニーズ、利用実態を踏まえた持続可能な地域公共交通の実現に向けて取り組んでいきます。

4 離島航路

「齋島航路」及び「三角航路」は、呉市が出資している第三セクター「齋島汽船株式会社」（以下「齋島汽船」といいます。）が運航していますが、各島の人口減少などにより、収支の悪化が続いており、令和2年11月13日付けで策定・公表をした「第三セクター等経営健全化方針」に基づき、経営改善の取組に着手しました。

令和4年度に設置した、呉市離島航路確保維持改善協議会（以下「協議会」といいます。）において、住民意見交換会での意見等を踏まえ運航見直しの検討を行い、令和6年10月1日から寄港地の変更（廃止）及び運航便数の変更（減便）を実施する予定としています。

(1) 各航路の利用状況等

ア 齋島航路（齋島～久比）

	令和元年期 (H30.10.1～R1.9.30)	令和2年期 (R1.10.1～R2.9.30)	令和3年期 (R2.10.1～R3.9.30)	令和4年期 (R3.10.1～R4.9.30)	令和5年期 (R4.10.1～R5.9.30)
利用者数（人）※	5,631.0	5,390.5	4,796.5	4,351.0	3,826.0
1便当たりの平均利用者数（人／便）	1.6	1.5	1.3	1.2	1.1
経常収益（千円）(a)	1,829	1,849	1,736	2,364	1,397
経常費用（千円）(b)	31,500	34,500	32,851	46,527	37,936
経常収支（千円）(a)－(b)	△29,671	△32,651	△31,115	△44,163	△36,539
経常収支率（％）(a)／(b)	5.8	5.4	5.3	5.1	3.7

イ 三角航路（三角～久比）

	令和元年期 (H30.10.1～R1.9.30)	令和2年期 (R1.10.1～R2.9.30)	令和3年期 (R2.10.1～R3.9.30)	令和4年期 (R3.10.1～R4.9.30)	令和5年期 (R4.10.1～R5.9.30)
利用者数（人）※	6,896.5	6,021.0	6,280.0	5,505.0	5,133.5
1便当たりの平均利用者数（人／便）	1.8	1.5	1.6	1.4	1.3
1便当たりの平均利用車両数（台／便）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
経常収益（千円）(a)	1,959	1,883	1,960	1,816	1,808
経常費用（千円）(b)	28,557	31,499	31,571	32,067	36,116
経常収支（千円）(a)－(b)	△26,598	△29,616	△29,611	△30,251	△34,308
経常収支率（％）(a)／(b)	6.9	6.0	6.2	5.7	5.0

※小人は0.5人で換算

(2) 令和5年度の取組状況

令和5年10月12日（木） 寄港地の変更（廃止）、運航便数の変更（減便）及び運航ダイヤの変更の事前協議について、国土交通省本省での承認

〃 10月26日（木） 国土交通省本省での承認が下りた旨を協議会委員に対して書面にて報告

令和6年 3月 1日（金） 運航事業者である齋島汽船から国土交通省中国運輸局に対して、事業計画変更認可申請書等提出

(3) 見直しの内容 (令和6年10月1日からの予定)

ア 齋島航路の寄港地の変更 (廃止)

現行	齋島	大浜	豊島	立花	久比
変更後	齋島	—	豊島	—	久比

イ 両航路の運航便数の変更 (減便)

1日当たりの運航便数は、次のとおりです。

(7) 齋島航路

	通年 (1/1~1/3を除く)	1 / 1	1 / 2 及び 1 / 3
現行(a)	5往復10便	運休	3往復6便
変更後(b)	4往復8便	運休	3往復6便
比較(b)-(a)	▲1往復2便	— (変更なし)	— (変更なし)

(4) 三角航路

変更後は1月1日を除いて、通年同じ運航便数になります。

3月～10月期

	月～土曜日	日曜日・祝日
現行(a)	5往復10便	4往復8便
変更後(b)	4往復8便	4往復8便
比較(b)-(a)	▲1往復2便	— (変更なし)

11月～2月期

	月～土曜日	日曜日・祝日並びに 1/2及び1/3	1 / 1
現行(a)	7往復14便	5往復10便	2往復4便
変更後(b)	4往復8便	4往復8便	運休
比較(b)-(a)	▲3往復6便	▲1往復2便	▲2往復4便

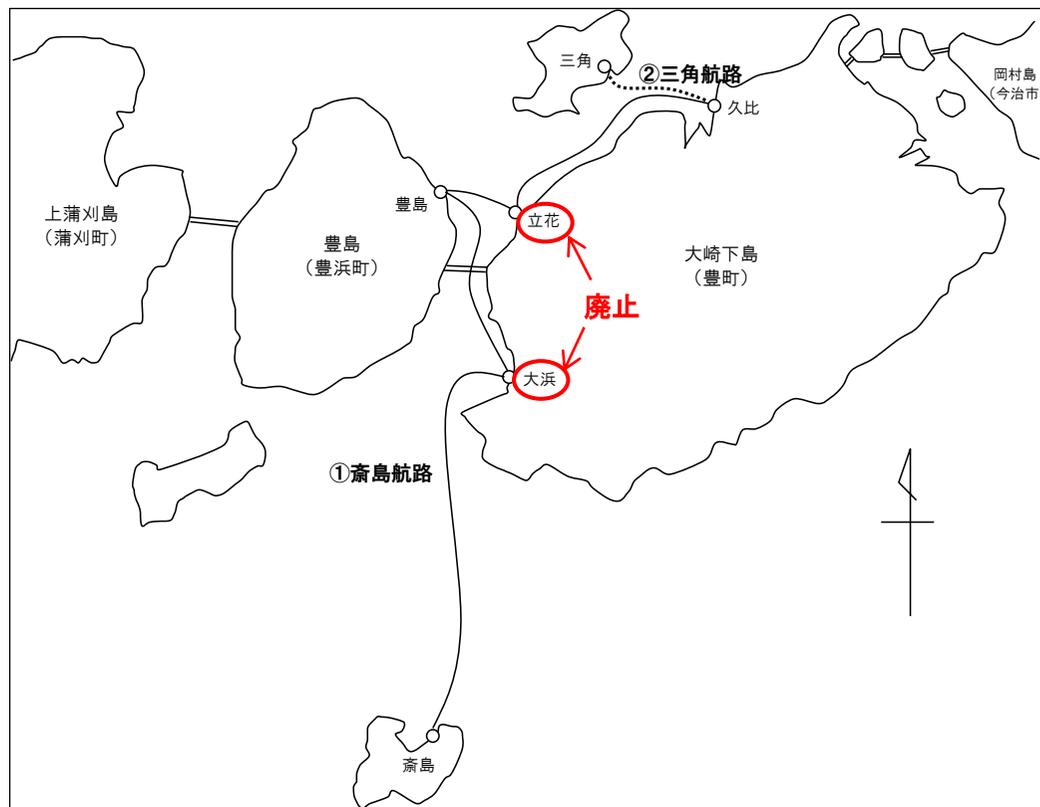
ウ 両航路の運航ダイヤの変更

ア・イを踏まえ、バスとの接続を考慮した運航ダイヤに変更します。

(4) 今後の取組方針

引き続き、齋島汽船との定期的な協議を通じて、利用者数や経費等の収支状況の共有を図るとともに、経営改善の取組を行うことにより、離島航路の維持に努めます。

【離島航路図】



5 生活航路（小長明石航路）

「小長明石航路」については、しまなみ海運株式会社（以下「しまなみ海運」といいます。）が運航していますが、利用者数の減少などにより、収支の悪化が続いており、運航見直しによる合理化を図るため、令和5年9月1日から、利用実態に応じた運航便数の変更（減便）及び運賃改定を実施しました。

(1) 利用状況等（小長～明石）

	令和元年度 (H31.4.1～R2.3.31)	令和2年度 (R2.4.1～R3.3.31)	令和3年度 (R3.4.1～R4.3.31)	令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)	令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31)
利用者数（人）※	48,301.5	40,373.5	37,455.5	36,898.5	31,766.5
1便当たりの平均利用者数（人／便）	5.7	4.8	4.4	4.4	4.1
1便当たりの平均利用車両数（台／便）	2.3	2.1	2.0	1.9	1.8
経常収益（千円）(a)	38,442	34,734	35,463	33,456	30,244
経常費用（千円）(b)	72,121	68,063	73,389	73,567	69,533
経常収支（千円）(a)－(b)	△33,679	△33,329	△37,926	△40,111	△39,289
経常収支率（%）(a)／(b)	53.3	51.0	48.3	45.5	43.5

※小人は0.5人で換算

(2) 見直しの内容

ア 運航便数の変更（減便）

1日当たりの運航便数は、次のとおりです。

	月～金曜日	土・日曜日 及び祝日
変更前(a)	12往復24便	11往復22便
変更後(b)	10往復20便	9往復18便
比較(b)－(a)	▲2往復4便	▲2往復4便

イ 運賃改定

1割増額の運賃改定を実施しました。自動車航送運賃は、車長により異なります。

	旅客運賃		自動車航送運賃
	大人	小人	4m以上5m未満
変更前(a)	330円	170円	2,240円
変更後(b)	370円	190円	2,470円
比較(b)-(a)	40円	20円	230円

(3) 今後の取組方針

引き続き、しまなみ海運との定期的な協議を通じて、利用者数や経費等の収支状況の共有を図るとともに、経営改善の取組を行いながら、安定的な運航の継続に努めます。

6 竹原大長航路（高速船）の運航休止

現在、竹原大長航路は、しまなみ海運が運航しており、運航経費の一部を大崎上島町が負担しています。

同町においては、令和4・5年度にデマンドバスの実証実験を行い、令和6年度から本格運行を開始しています。これにより、島内の陸上交通の利便性が大きく向上する見通しとなったことを受け、昨年度より、大崎上島町公共交通連携協議会において、陸上交通と海上交通を含む公共交通の再編・見直しの議論が行われました。

この結果、同町としては、この取組によりデマンドバスが高速船の島内区間の代替移動手段となり得るとの判断から、しまなみ海運と協議を行い、令和6年度末での当該航路の運航休止について、両者が合意に達しました。

なお、竹原大長航路の運航休止後の令和7年度からは、小長明石航路が大崎上島と大崎下島とをつなぐ唯一の航路となります。

(1) 竹原大長航路の概要

ア 運航状況

- (7) 使用船舶 かがやき2号（高速船 14トン）
- (4) 運航便数 竹原～大長間 通年1日7往復14便
 （便によっては、寄港しない港もあります。）
 明石～大長間 通年1日6往復12便
- (ウ) 旅客運賃 竹原～大長間 大人1,510円、小人760円
 明石～大長間 大人310円、小人160円
 （旅客運賃は、区間により異なります。）

イ 利用状況

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
竹原～大長	28,834.5	21,038.5	19,536.5	20,523.0	20,990.0
うち、明石～大長	8,398.0	6,504.0	6,144.5	6,071.5	6,986.0
1便当たりの平均利用者数	1.9	1.5	1.4	1.4	1.6

※小人は0.5人で換算

(2) 今後の予定

行政報告終了後、豊地区地元関係者に対して、竹原大長航路の運航休止について説明を行います。また、小長明石航路運航負担金の共同負担について、大崎上島町と協議を進めます。

【航路図】

